

2018年8月9日

株式会社電通

代表取締役社長執行役員 山本 敏博

(東証第1部 コード番号: 4324)

2018年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、以下「当社」）は、2018年8月9日開催の取締役会において、株式会社カカコム¹の全普通株式売却による売却益を2018年度第3四半期（7～9月）に計上すること（本年8月2日に発表済み）、および他の要因の影響を勘案し、本年2月13日に開示した2018年度通期（2018年1月1日～2018年12月31日）の業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（IFRS 基準、2018年1月1日～2018年12月31日）

	前回発表 予想(A)	今回修正 予想(B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2017年1-12月)
収益(百万円)	1,006,900	1,006,900	—	—	946,225
売上総利益(百万円)	954,700	954,700	—	—	877,622
調整後営業利益 (百万円)	150,000	150,000	—	—	163,946
親会社の所有者に帰属する 調整後当期利益(百万円)	99,800	99,800	—	—	107,874
基本的1株当たり 調整後当期利益(円)	354.03	354.03			381.58
営業利益(百万円)	112,900	112,900	—	—	137,392
親会社の所有者に帰属する 当期利益(百万円)	61,600	79,500	+17,900	+29.1	105,478
基本的1株当たり 当期利益(円)	218.52	282.02			373.11

(注1) 「調整後営業利益」は、営業利益から、買収に伴う無形資産の償却費、M&Aに伴う費用、被買収会社に帰属する株式報酬費用ならびに減損、固定資産の売却損益などの一時的要因を排除した恒常的な事業の業績を測る利益指標です。

(注2) 「親会社の所有者に帰属する調整後当期利益」は、当期利益から、営業利益に係る調整項目、アーンアウト債務・買収関連プットオプション再評価損益、これらに係る税金相当・非支配持分損益相当などを排除した、親会社所有者に帰属する恒常的な損益を測る指標です。

2. 当期の個別業績予想数値の修正（日本基準、2018年1月1日～2018年12月31日）

	前回発表 予想(A)	今回修正 予想(B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2017年1-12月)
売上高(百万円)	1,561,600	1,561,600	—	—	1,561,528
売上総利益(百万円)	228,500	228,500	—	—	228,472
営業利益(百万円)	46,300	46,300	—	—	54,289
経常利益(百万円)	67,200	67,200	—	—	76,837
当期利益(百万円)	50,100	90,400	+40,300	+80.4	63,556
1株当たり当期利益(円)	177.72	320.68			224.82

3. 理由

当社は、本年8月2日に発表したとおり、株式会社カカコムの全普通株式売却による売却益を、連結決算（IFRS基準）では約515億円を関連会社株式売却益として、また個別決算（日本基準）においては約584億円を特別利益として、第3四半期に計上いたします。

一方で、海外の買収先企業の業績好調等を背景に、アーンアウト債務・買収関連プットオプション再評価損の計上が見込まれること、および法人税等の影響を勘案し、上記のとおり修正いたしました。

なお、今回修正予想の為替換算レートは前回発表予想から変更せず、2018年1月の平均レートを使用しています。ただし、アーンアウト債務・買収関連プットオプション再評価損については、2018年1-6月の平均レートを使用していますが業績に与える影響は軽微です。

(参考)為替換算レート

	前回発表予想	今回修正予想	(ご参考) 2018年1-6月 平均レート	(ご参考) 前期実績
円/USD	110.9円	110.9円	108.7円	112.2円
円/GBP	153.4円	153.4円	149.7円	144.5円

以上

(注)この資料に記載しております収益および利益の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断および仮定により算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の収益および利益は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。